

事務事業及び予算の執行実績  
(令和5年度分「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立浜松湖東高等学校

# 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	15
学校施設の概要	16
在籍生徒調	18
入学志願者及び入学者数調	19
卒業生の動向調（高等学校用）	20
生徒の状況	21
授業料収納状況調	22
県収入証紙により徴収した 使用料及び手数料調	26
預金調	27
郵便等受払調	28
委託料等歳出予算表 執行状況節別集計表	29
委託料等歳出予算表 執行状況節別集計表	30
委託料に関する調	31
負担金支出調	33
建築工事調	35
公有財産調	39
借地借家等調	40
行政財産貸付・使用許可調	41
主要備品調	42
職員調	43
職員の年齢調	46
健康管理	47

# 事務事業の概要

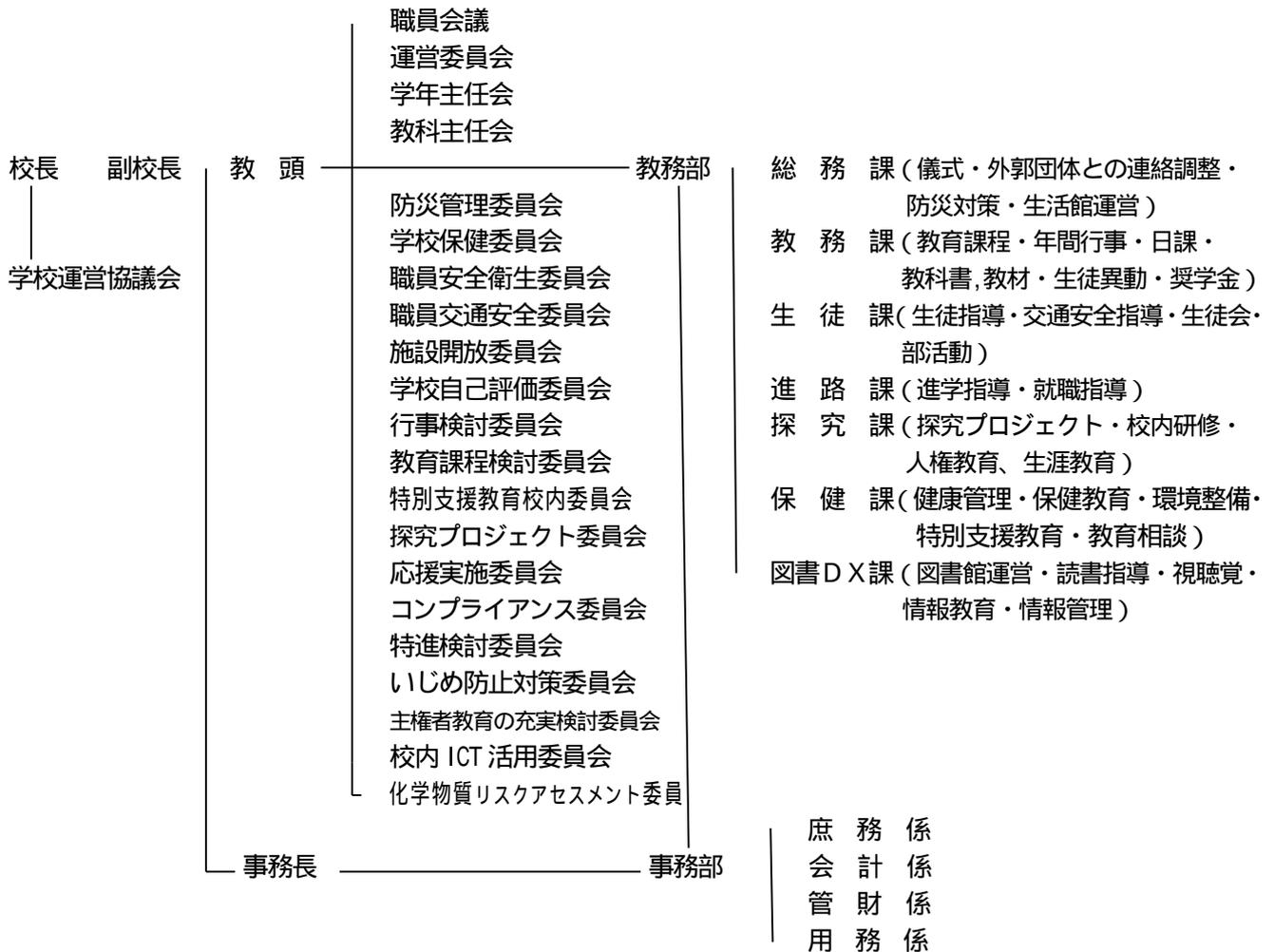
## 1 概 況

### (1) 学校の沿革

- 昭和 25. 4. 21 静岡県立引佐高等学校北庄内分校（北庄内村立、定時制）として、地方農村の振興のため創立、北庄内中学校校舎を借用し、専任教員4人、事務職員1人、生徒72人（農業科32人、家庭科40人）で発足
26. 4. 1 静岡県立引佐農業高等学校北庄内分校（北庄内・南庄内・村櫛・和地・伊佐見・吉野六ヶ村組合立、定時制）に校名変更
26. 11. 1 県立に移管
34. 4. 1 全日制授業開始
37. 4. 1 全日制（普通科）授業開始、農業科・家庭科停止
42. 4. 1 独立に伴い、静岡県立浜松湖東高等学校と改称  
全日制課程 普通科 1学年定員150人
43. 4. 1 1学年定員、普通科192人
43. 9. 3 現在地 新校舎起工式
44. 3. 25 第1期工事竣工（鉄筋5階建）
44. 4. 1 1学年定員、普通科235人
44. 5. 1 現在地新校舎へ移転
44. 6. 27 第2期工事起工式
45. 2. 20 第2期工事竣工（鉄筋5階建）
45. 3. 19 第1自転車置場竣工
46. 2. 12 体育館兼講堂竣工
46. 4. 1 1学年定員、普通科315人
46. 11. 12 柔剣道場竣工
47. 8. 15 テニスコート造成工事竣工
47. 12. 20 体育館渡廊下及び食堂竣工
49. 4. 1 1学年定員、普通科360人
51. 9. 30 第2自転車置場竣工
51. 10. 1 独立10周年記念式典挙行
52. 3. 25 東館竣工（鉄筋2階建）
52. 8. 31 プール竣工（8コース×25M）
53. 2. 20 生活館竣工（鉄筋3階建）
54. 5. 31 卓球場及び部室竣工（鉄骨2階建）
55. 4. 1 1学年定員、普通科405人
56. 2. 24 図書館竣工（鉄筋2階建）
57. 4. 1 1学年定員、普通科360人
58. 4. 1 1学年定員、普通科405人
59. 12. 12 耐震補強工事完成（本館）
60. 3. 25 自転車置場竣工
61. 11. 1 独立20周年記念式典挙行
62. 3. 26 西館竣工（鉄骨平屋建）
62. 4. 1 1学年定員、普通科450人

平成	2. 4. 1	1 学年定員、普通科 405 人
	5. 4. 1	1 学年定員、普通科 430 人
	6. 4. 1	1 学年定員、普通科 378 人
	7. 4. 1	1 学年定員、普通科 410 人
	8. 4. 1	1 学年定員、普通科 360 人
	8.11. 1	独立 30 周年記念式典挙行
	11. 3.20	運動場整備工事完成
	11. 4. 1	1 学年定員、普通科 400 人
	12. 4. 1	1 学年定員、普通科 360 人
	17. 4. 1	1 学年定員、普通科 320 人
	18. 1.20	体育館耐震補強工事完成
	18.11. 1	独立 40 周年記念式典挙行
	22. 1.29	本館耐震補強工事完成
	23. 2. 3	渡り廊下・生活館耐震補強工事完成
	24. 3.29	卓球場完成
	26. 4. 1	1 学年定員、普通科 360 人
	27. 4. 1	1 学年定員、普通科 320 人
	28.11.10	創立 50 周年記念式典挙行
	31. 4. 1	1 学年定員、普通科 280 人
	令和	7. 4. 1

(2) 組織図



## 2 目指す学校像

### スクール・ミッション

地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、地域社会が抱える課題の解決に向けた学びに重点的に取り組み、生徒自身が実際に様々な社会問題と向き合うことで、実社会との関わり方を体験を通して学び、論理力や答えの出ない事態に耐え得る力を身に付け、「自分から、自分らしく、自分の言葉で語れる生徒」の育成を目指す。

#### (1) スクール・ポリシー

##### 【グラデュエーション・ポリシー】

答えの出ない事態に耐え得る力を身につけ、相手の主張の筋道を読み解き、自分の考えを整理して自分の言葉として伝えることができる。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

探求を軸に自分で見つけたことを相手に説明し、自分で分かったつもりの方が分かってもらえないことを、対話を繰り返す中で自分から自分の考えを見直して自分の言葉にしていく。そのために、教科横断的な視点で以下6つの資質・能力を育成する。

- ①「論理的思考力」(相手の主張の道筋を読み解き、自分の考えを整理して伝える力)
  - 「関連づける思考力」(唯一の正解が存在しないものに、最適解や納得解を見出す力)
  - 「分析・批判的思考力」(対立やジレンマに折り合いをつける力)
  - 「ネガティブ・ケイパビリティ」(答えの出ない事態に耐え得る力/やり抜く力(グリット(GRIT)/立ち直りを促進する力(レジリエンス(RESILIENCE))
  - 「コミュニケーション能力」(他者と良好な人間関係をつくる力/他者との対話の中で、自分の考えを再考し、自己の理解を深める力)
  - 「発信力」(自分の考えを要約して相手の記憶に残るように話す力)

##### 【アドミッション・ポリシー】

答えのない問いに挑み、仲間と共にやり遂げる体験を通して、自ら学び、成長していこうとする。

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

##### ア 対話により建設的相互作用を引き起こす知識構成型学習

###### 「ジグソー法」

(テーマや課題について、役割分担をして調べ学習を行い、自分が調べた内容を教え合う手法)

###### 「R80」

(2文を接続詞一つで結び80字以内で書く手法)

##### イ 総合的な研究の時間

###### 「ソーシャルチャレンジ」

(困っている人を助けて、笑顔にする企画を考えるプログラム)

###### 「コーポレートアクセス」

(実在する企業でのインターンシップを教室で体験しながら、企業と共に未来をつくっていくプログラム)

###### 「課題研究」

##### ウ 探求プロジェクト

###### 「フェアトレード(公正な貿易)」

###### 「コトバシヨ(小中学生の子どもへの学習支援)」

###### 「ジェンダー(平等な社会)」

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果(○)と課題( )
ア	自ら学ぶ習慣を育成し、確かな学力を伸ばさせる。	自分自身の苦手箇所を正確に把握し、自分に合った学習を進められる生徒 70%以上	73%	A	○1、2年生は67%、68%であったが、3年生は84%と高い達成状況であり、個別指導・グループ指導を通して前向きに取り組む生徒の育成ができた。また、スタディサプリを効果的に受験勉強に活用している生徒が複数いた。 生徒が主体的に取り組めるようにするため、教科の枠を越えて学校全体で改善策(教育課程、校内研修等)を探っていく必要がある。特に1、2年生へのアプローチが課題である。
	探究的な学びを推進する。	自分の最適解や納得解など考えを表現できると答える生徒 70%以上	73%	A	○各教科において、グループで考えさせて発表させたり、考えを80字程度で記述させたり、自分の考えを表現させるように工夫された授業が多くなってきた。また、ICTを活用した授業が当たり前になってきた。「総合的な探求の時間」では、生徒自らが作成したプレゼンテーションは、年々向上してきている。 生徒に興味を持たせ、効果的に思考へとつなげる授業展開を研究していく。同時に「褒める・認める」等のアプローチをし、生徒の自己肯定感を高める。
	「時を守り、場を清め、身を正す」指導をすすめ、規範意識を醸成する。	校内における私物の管理(机上やロッカーの上等に放置しない)ができる生徒 95%以上	92%	A	○各学年とも概ね目標は達成できた。 美化意識の向上を促すための声掛けを継続していく必要がある。
		「生活面(服装・頭髪等)はしっかりしている」と答える生徒 80%以上	91%	A	○生徒の生活は落ち着いている。指導が必要な生徒は教員間で共有し、機会をとらえて指導することができた。 普段からの声掛けや対話を大切にし、先手を打ちながらも生徒の小さな変化を見逃さないことが必要不可欠である。
生徒が主体的に将来設計できるような進路指導を推進する。	自分自身の実力を正確に把握し、自分に合った進路を決められる生徒 80%以上	81%	A	○進路説明会、模擬試験、面談等を通して生徒自身の進路を考える機会を増やした。また、模擬試験の事前・事後指導を充実させることで、進路における意識を向上させることができた。 3年間を見通した計画的・効果的な進路指導を研究するとともに、外部の情報やデータの収集や活用が必要である。	

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果(○)と課題( )
	本校の進路指導に対して満足と感じる卒業生 90%以上	75%	B	○進路インフォメーション(進路だより)を定期的に発行し、各学年にてその時期における話題を提供し、生徒の意識を高めた。また、模試だけでなく、R-CAPや夢ナビの活用、小論文・志望理由書等も進路意識を高めることにつながった。 全体指導形式での指導、小論文・志望理由書指導の時間を増やす。
全員が積極的に関り、主体性や社会性を育む。	県大会へ出場する部活動(大会等がない部活動は対外的活動実施) 80%以上 各部活動による奉仕活動 年1回以上	81%が出場又は実施 おおむね達成できた	B	○通常に戻りつつある中で、体調管理も並行して各部活動が積極的に活動する姿が見られた。 1年生の運動部加入率を高めることにより、活気のある学校を目指したい。
	生徒会行事等は生徒自らの企画・実行により行われていると感じる生徒 80%以上	79%	A	○コロナ前に戻しつつ、昨年度の新たな試みを今年度も継続して実施することができた。生徒会生徒は実に熱心に活動している。アンケートを分析すると改善点が出てきているため、それらを検討し実践したい。
一人ひとりが、諸活動に前向きに参加し、他者との関わりの中で自己肯定的感を醸成する。	本校の教員は自分のことを認めてくれていると感じる生徒 80%以上	80%	A	○1年生全員を対象に「1分間カウンセリング」を行い生徒理解をするとともに安心して学校生活を営めるよう意識づけを行った。 認められていないと感じている生徒の数を減らすために、教員の「褒める・認める」意識をさらに高めていく。
	学校に安全・安心の場があると答える生徒 80%以上	78%	A	○生徒の情報を正副担任や授業担当者、部活動顧問や養護教諭等で細目に共有することで全教員で生徒を見守ることができた。 一人で見守るのではなく、情報を共有し連携することが必要。様々な理由で登校できなくなる生徒への対応が課題。また、安心して相談できる雰囲気や場を作る必要がある。
広い視野で物事を考えることができるよう、読書活動の充実を図る。	朝読書や授業を含め学校や家庭で読書に取り組めたと答える生徒 80%以上	58%	C	○1、2年生は週4日朝読書を、3年生は「課題研究」で1冊以上の読書を行った。本館書架のレイアウト見直し、廃棄候補を書庫に移動した。また、行事や授業に関連した展示を行い、「図書館だより」で案内した。 出張コーナーをさらに充実したものにしていく。蔵書点検の実施を目指す。また、図書委員会を中心に継続的に展示を工夫するとともに、定期的に「図書館だより」を発行し、案内をしていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果(○)と課題( )
イ	研修の充実を図り、その成果を共有することで、指導力の向上を図る。	授業見学、授業改善及び学習評価の校内研修、校外研修の内容を共有し、授業で実践した教職員 70%以上	ICT 活用や対話による思考の深化に取り組む教員の数は確実に増えた。	B	○外部講師を招いて行った年2回の校内研修などを通して、ジグソー法等の授業展開方法は定着してきている。また、観点別評価を行うためのノウハウが各教科で蓄積されてきている。 授業改善研修や授業参観ウィークの内容や目的の見直し、再確認を行い、授業内で実践する教職員を着実に増やす。
	内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。	点検した内規・規定 100% 各事業の目的の明確化 100%	概ね達成できた。	B	○内規、生徒心得、PTA会則ほか諸規定について、ほとんどの分掌で見直しや改定が進められた。 事業の目的の明確化については今後も継続して見直していく。
	保護者、県民等への広報活動を充実する。	ホームページ更新回数 年100回以上 行事開催の案内通知と併せたメール送信やオンライン配信の実施	Instagramを含めて184回以上	B	○本年度、情報DX課を開設したことにより、学校ホームページのトピックやコンテンツの整理に加え、ホームページにリンクさせたInstagramの開設及び更新を積極的に行うなど、学校広報活動が大きく前進した。 学校ホームページの新システム(CMS)移行に伴い、改めてデザインやコンテンツの精選を行う。また、Instagramの活用方針について検討する。
	PTA・後援会・同窓会と連携した教育環境の整備を図る。	良い環境で学習・部活動ができていると感じる生徒 70%以上	75%	A	○外郭団体と連携し、教員の要望等に対しては可能なものから実施するなど、学習・部活動環境の整備を進めた。 引き続き、要望等の把握に努めながら、環境整備を進めていく。
	施設設備の充実を図る。	危険性の早期把握、迅速な対策、及び利便性の向上	日常的な校内巡視を通じ、危険箇所の把握、記録、迅速な応急措置を行った。	B	○安全点検の結果や定期点検等で指摘された不具合箇所については、緊急を要するものから小破修繕を行い、大規模な補修を要するものは予算化等に向け県に予算要求等を行った。黎明館ほか給排水衛生設備改修、電話設備更新、プールろ過装置改修、黎明館屋上防水層修繕、本館玄関改修等多くの工事を実施し、教育環境の改善が図られた。 築40年を超える建物が多く、老朽化が進んでいる。未だ予算化されない懸案箇所について、予算要求、対策を継続していく。

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
ア	自ら学ぶ習慣を育成し、確かな学力を伸長させる。	授業を中心とした学習と復習、課題等を着実に行う中で、生徒が自ら苦手箇所を正確に把握し、1人1台端末を活用して、ここに適した学習を見つける。	自分自身の苦手箇所を正確に把握し、自分に合った学習を進められる生徒 70%以上
	探求的な学びを推進する。	総合的な探求の時間において「ソーシャルチェンジ」「コーポレートアクセス」プログラムを実施するとともに、「フェアトレード」「コトバシヨ」の企画・運営・調整等を行う。	自分の最適解や納得解など考えを表現できると答える生徒 70%以上
		授業で生徒に期待する資質・能力の発揮のされ方を明確化し、生徒が主体的に授業に取り組めるよう授業改善を行う。	
	「時を守り、場を清め、身を正す」指導をすすめる、規範意識を醸成する。	保護者の理解・協力を得ながら、全教員の共通理解の下、生徒が自ら意識して行動できるような指導を行う。	校内における私物の管理(机上やロッカーの上等に放置しない)ができる生徒 95%以上
			「生活面(服装・頭髪等)はしっかりしている」と答える生徒 85%以上
	生徒が主体的に将来設計できるような進路指導を推進する。	進研記述、全統記述等の偏差値50ライン(模試の35点獲得ライン)から分析し、理解促進のために、一人ひとりに合った授業を進める。	自分自身の実力を正確に把握し、自分に合った進路を決められる生徒 80%以上
			本校の進路指導に対して満足と感じる卒業生 90%以上
	全員が積極的に関り、主体性や社会性を育む。	成就感や達成感を持たせる指導を推進し、活動を生かした奉仕活動を実践する。	部活動に積極的に取り組んでいる生徒 80%以上 各部活動による奉仕活動 年1回以上
		生徒が自ら企画・実行できる特別活動を推進する。	生徒会行事等は生徒自らの企画・実行により行われていると感じる生徒 80%以上
	一人ひとりが、部活動に前向きに参加し、他者との関わりの中で自己肯定的感を醸成する。	自尊感情と規範意識のバランスのとれた育成のために、認めて育てる指導を行う。 課題を抱える生徒について情報を共有し連携した組織対応をする。	本校の教員は自分のことを認めてくれていると感じる生徒 80%以上
人間関係づくりプログラムを実施し、他者と良好な人間関係をつくる。		学校に安全・安心の場があると答える生徒 80%以上	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
	広い視野で物事を考えることができるよう、読書活動の充実を図る。	読書に親しみ、自己の生き方・在り方を考える生徒を増やす。	朝読書や授業を含め学校や家庭で読書に取り組めたと答える生徒 80%以上
イ	研修を充実を図り、その成果を共有することで、指導力の向上を図る。	公開授業日を年2回以上設定する。授業改善及び学習評価の校内研修を年2回実施する。校外研修の内容を共有し、いかす。	授業見学、授業改善及び学習評価の校内研修、校外研修の内容を共有し、授業で実践した教職員 70%以上
	内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。	各種内規・規定及び、各分掌・学年の事業の見直しを行う。	点検した内規・規定 100% 各事業の目的の明確化 100%
	保護者、県民等への広報活動を充実する。	ホームページやインスタグラムの更新に努めると共に、メール配信を積極的に活用する。	ホームページとインスタグラム更新 合計回数 年200回以上 行事開催の案内通知と併せたメール送信やオンライン配信の実施
	PTA・後援会・同窓会と連携した教育環境の整備を図る。	生徒や保護者の意向を重視した環境整備を行う。	良い環境で学習・部活動ができていると感じる生徒 70%以上
	施設設備の充実を図る。	常に安全に配慮し、計画的に修繕する。	危険性の早期把握、迅速な対策、及び利便性の向上
ウ	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の在り方、見直しについて一人一人が意見を出しやすい環境をつくり、全員で実践できる体制を整備する。	業務の見直しについて、小グループ（分掌・学年等）での検討 月1回以上 全体での検討 年2回以上
		時間外在校等時間数の状況を把握、分析したうえで、教職員一人一人が業務の効率化を工夫し、時間外勤務の削減に努める。	完全退勤時刻（20時）の遵守 各自定時退勤（16:45） 週1回以上

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
5 年度	<p>カリキュラムマネジメントの継続推進</p> <p>学習・進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識構成型学習「ジグソー法」や「R80」(2文を接続詞一つで結び80字以内で書く手法)の活用</li> <li>・スタディサプリ(オンライン学習サービス)を全校で導入し、生徒の学習補助教材として活用</li> <li>・総合型選抜に向けた推薦プロジェクトによる小論文・面接指導</li> </ul> <p>職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘した校内研修会の実施</li> </ul> <p>探究プロジェクトの活動と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内における探究プロジェクト 総合的な探究の時間で、1年生では「ソーシャルチェンジ」、2年生では外部リソースを利用した「コーポレートアクセス」というプログラムを10カ月かけて行った)</li> <li>・郊外における探究プロジェクト(昨年度までのグローバル・ハイスクール・プロジェクト事業の継続) 塾に行けない中学生対象の学習支援「コトバショ」事業 フェアトレードから見える持続可能な社会を学ぶ事業(開発途上国でのコーヒー栽培を知る)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールミッションをもととしたスクールポリシーを実現するため、具体的な柱を立てて、カリキュラムマネジメントを継続して推進した。</li> <li>・各授業で対話活動(言語活動)を取り入れる場面を設定するとともに、校内研修の本校のテーマである知識構成型学習「ジグソー法」を活用した。また、2文を接続詞で結んで80文字で記述する「R80」などをあらゆる場面で積極的に取り入れた。さらに、ICTの活用も学校全体として定着してきている。</li> <li>・動画による復習や学び直し、課題配信等を利用して、学習意欲の啓発や学力向上に資した。</li> <li>・希望する生徒を対象に、一人一人の進学希望に沿った担当教員を決め、小論文指導や面接指導をきめ細やかに行った。</li> <li>・外部講師(国立教育政策研究所・白水始氏)を招聘し、授業改善の推進、資質能力ベースでの指導について、より専門的で充実した研修を行った。その中心となるジグソー法の教授法を取り入れた授業が徐々に行われるようになってきた。</li> <li>・「探究活動」を充実させるための探究プロジェクトチームが4年目となり、ノウハウが蓄積されて、実績も上がっている。</li> <li>・1年生での「ソーシャルチェンジ」は、困っている人を助けるアイデアをグループで考えプレゼンを行うというものである。</li> <li>・2年生での「コーポレートアクセス」は、大手企業から提案された課題について、グループで解決策を考え提案するというものである。</li> <li>・プロジェクトとして左記 に、継続して取り組んでおり、良い結果が現われている。 については、ノウハウが培われ、安定的に継続できる形になってきたため、次年度はより発展・拡充を目指していく。 についても生徒自身が中心となって活動しており、継続的な学びにつながるとともに、関係者との連携がより密接になってきた。また、近隣の協働センターでの展示、浜松市の催しでのコーヒー販売など、フェアトレードの周知にも注力している。 とともに、次年度は本活動をより広く広報するとともに学校全体の活動へと発展していきたい。</li> </ul>

年度	取組概要	成果及び課題
6年度	<p>カリキュラムマネジメントの継続推進</p> <p>学習・進路指導  ・知識構成型学習「ジグソー法」や「R80」(2文を接続詞一つで結び80字以内で書く手法)の活用</p> <p>・スタディサプリ(オンライン学習サービス)を全校で導入し、生徒の学習補助教材として活用  ・総合型選抜に向けた推薦プロジェクトによる小論文・面接指導</p> <p>職員研修の充実  ・外部講師を招聘した校内研修会の実施</p> <p>探究プロジェクトの活動と実践  ・校内における探究プロジェクト  総合的な探究の時間で、1年生では「ソーシャルチェンジ」、2年生では外部リソースを利用した「コーポレートアクセス」というプログラムを10カ月かけて行った)</p> <p>・郊外における探究プロジェクト(昨年度までのグローバル・ハイスクール・プロジェクト事業の継続)  近隣地域の小・中学生対象の学習支援「コトバショ」事業  フェアトレードから見える持続可能な社会を学ぶ事業(開発途上国でのコーヒー栽培を知る)</p>	<p>・スクールミッションを実現するためスクールポリシーに則り、カリキュラムマネジメントを継続して推進した。</p> <p>・各授業で対話活動(言語活動)を取入れる場面を設定するとともに、校内研修の本校のテーマである知識構成型学習「ジグソー法」を活用した。また、2文を接続詞で結んで80文字で記述する「R80」などをあらゆる場面で積極的に取り入れた。さらに、ICTの活用も学校全体として定着している。</p> <p>・動画による復習や学び直し、課題配信等を利用して、学習意欲の啓発や学力向上に資した。</p> <p>・希望する生徒を対象に、一人一人の進学希望に沿った担当教員を決め、小論文指導や面接指導をきめ細やかに行った。</p> <p>・外部講師(国立教育政策研究所・白水始氏)を招聘し、授業改善の推進、資質能力ベースでの指導について、専門的で充実した研修を行った。その中心となるジグソー法の教授法を取り入れた授業が行われるようになってきた。</p> <p>・「探究活動」を充実させるための探究プロジェクトチームが5年目となり、ノウハウが蓄積されて、実績も上がっている。</p> <p>・1年生での「ソーシャルチェンジ」は、困っている人を助けるアイデアをグループで考えプレゼンを行うというものである。</p> <p>・2年生での「コーポレートアクセス」は、大手企業から提案された課題について、グループで解決策を考え提案するというものである。富士通から提案された課題に取り組んだグループが全国で優秀賞を受賞した。</p> <p>・プロジェクトとして左記 に、継続して取り組んでおり、成果が現われている。  については、ノウハウが培われ、より発展・拡充できた。静岡県SDGs スクールアワード2024で県教育長賞(最高位)を受賞した。  についても生徒自身が中心となって活動しており、継続的な学びにつながるとともに、関係者との連携がより密接になった。また、近隣の協働センターでの展示、浜松市の催しでのコーヒー販売など、フェアトレードの周知にも尽力した。  とともに、次年度は本活動をより広く広報するとともに学校全体の活動へと発展させていきたい。</p>

5 教職員について

(1) 令和6年度末異動状況

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員										臨時職員			会計年度任用職員				合 計		
	教 育 職 員						行 政 職 員				本 務 計	教 諭 (任)	教 諭 (臨)	臨 時 計	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員		会 計 年 度 任 用 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	事 務 長	主 査	主 任	主 事										
転出者				3					1		4									4
退職者				1			1				2		1	1		2			2	5
再任用 (退職)				4							4									4
転入者				3			1	1			5									5
新任者				1							1									1
再任用 (新任)				4							4									4
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	2	0		2	3

(2) 現員数

(令和7年4月1日現在)(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員										臨時職員		会計年度任用職員				合 計	
	教 育 職 員						行 政 職 員				本 務 計	教 諭 (任)	臨 時 計	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員		会 計 年 度 任 用 計
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	事 務 長	主 査	主 任	主 事								
男	1		1	25		1		1		1	30	1	1		3	1	4	35
女		1		19	1		1	1			23			1	1	1	3	26
計	1	1	1	44	1	1	1	2	0	1	53	1	1	1	4	2	7	61

再任用教諭：週38時間45分 4人、週19時間25分 4人

(3) 健康管理について

教職員の健康管理については、疾病の早期発見と健康の保持増進に留意した。職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、常に健康管理医・衛生管理者と連携を図り、教職員の健康や活力の維持に努めた。

ア 定期健康診断の完全受診と要精密者へは再検査等事後措置の徹底を積極的に促した。ほとんどの職員が事後措置区分D段階であった。定期的な検査等を受け、健康生活への自己管理を呼び掛けた。

イ 令和6年度の教職員の保健指導対象者はいなかった。

ウ 新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったが、感染症拡大の恐れがあり、引き続き感染症予防を行っていたため、令和6年度も職員健康講座を中止することとした。

職員には新型コロナウイルス感染症等に対する対応等を周知し、生徒・職員・それらの家族への感染防止を呼び掛けた。

(4) 教職員の研修について

教職員としての資質の向上を図るため、常に研修意欲の高揚と、その実践を奨励している。研修・研究について、機会あるごとに参加を促すとともに、校内研修活動も積極的に行い、授業改善・カリキュラムマネジメントに資する取組としている。

令和5年度

研修の目的	研修の内容及び成果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業公開による授業改善</li> <li>・ 外部講師を招聘した校内研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回、校内授業週間を設けるとともに、互いのアドバイスを紙面で共有する仕組みを試した。</li> <li>・ 10月28日(土)には、中学生と保護者、また地域の方に対して授業公開を行った。</li> <li>・ 新学習指導要領対応授業改善推進サポート研修における授業研究の事前研修(8月2日)、研究授業・事後指導(10月17日)に東京大学高大接続研究開発センター白水教授を招聘し、校内研修を実施した。</li> <li>・ 上記10月の授業研究では、8月の研修で学んだことを生かし、日本史担当教諭がジグソー法を用いて中心授業を行った。若手教員を中心にジグソー法などのツールを活用した授業方法が広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徐々に全体としての授業参観率が増えてきている。次年度はシステムの構築と充実を目指す。</li> <li>・ 次年度以降も継続的に実施し、教員の意識への浸透を図っていく。</li> <li>・ 県の研修や校内研修などを経て、徐々に知識構成型学習を取り入れる教員が増えてきている。次年度以降も確実に進めていく。</li> </ul>

令和6年度

研修の目的	研修の内容及び成果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業公開による授業改善</li> <li>・ 外部講師を招聘した校内研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回、校内授業週間を設けるとともに、互いのアドバイスを紙面で共有する仕組みを実施した。</li> <li>・ 11月2日(土)には、中学生と保護者、また地域の方に対して授業公開を行った。</li> <li>・ 新学習指導要領対応授業改善推進サポート研修における授業研究の事前研修(7月30日)、研究授業・事後指導(10月22日)に国立教育政策研究所 総括研究官 白水教授を招聘し、校内研修を実施した。</li> <li>・ 上記10月の授業研究では、7月の研修で学んだことを生かし、国語担当教諭がジグソー法を用いて中心授業を行った。若手教員を中心にジグソー法などのツールを活用した授業を工夫して実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度より全体としての授業参観率が増えてきている。次年度はさらなる充実を目指す。</li> <li>・ 次年度以降は県の研修など外部研修への参加とそこで得た知見を校内で広めていくよう、より一層教員に促していき、意識の浸透を図っていく。</li> </ul>

校外での主な職員研修

5年度		6年度	
研 修 名	人数	研 修 名	人数
新学習指導要領対応授業改善推進サポート研修	1	新学習指導要領対応授業改善推進サポート研修	1
キャリアアップ研修	1	キャリアアップ研修	1
人権教育担当者研修会	1	人権教育担当者研修会	1
高大接続改革関係研修会	2	高大接続改革関係研修会	2
授業改善関係研修会	13	授業改善関係研修会	10
教科教育研関係研修会	17	教科教育研関係研修会	5
他校における公開授業、学校視察	8	他校における公開授業、学校視察	9

6 防災対策について

(1) 防火管理

防災委員会、防火管理組織及び防火組織を構成し、火災予防及び非常の際における生徒の安全と施設・設備の保全に努めている。

(2) 地震防災対策

地震防災応急対策を立て、平常時・南海トラフに関連する情報が発表された場合及び発災時の対策を定め、人命の安全確保、施設・設備の保全、教育活動の維持、地域防災計画への参加を図っている。また、生徒一人一人について「避難カード」を作成し、地震発生時の避難状況が把握できるようにしている。

令和5年度

防災訓練項目	実施日	実施内容
第1回防災訓練	5年5月19日(金)	地区別避難訓練(地区別集合) ・点呼及び地区長選出/集団下校路確認
第2回防災訓練	5年6月19日(月)	放送によるJアラート知覚訓練 ・机の下に1次避難/スマホによる安否確認訓練
第3回防災訓練	5年8月30日(水)	南海トラフ地震を想定した図上訓練 ・机の下に1次避難/防災学習プリント/安否確認訓練
第4回防災訓練	5年11月6日(月)	南海トラフ地震を想定した避難訓練(火災防災訓練を含む) ・机の下へ1次避難/安否確認訓練/避難経路確認/防災学習プリント
地域防災訓練	5年12月3日(日)	・全校生徒に参加を呼びかけ

令和6年度

防災訓練項目	実施日	実施内容
第1回防災訓練	6年5月23日(木)	地区別集会 ・地区人員の確認及び地区長選出/集団下校確認
第2回防災訓練	6年6月24日(月)	放送によるJアラート知覚訓練 ・机下への1次避難/防災学習プリント/Google classroomによる安否確認訓練
第3回防災訓練	6年8月29日(木)	南海トラフ地震を想定した知覚訓練及び避難訓練 ・机下への1次避難/グラウンドへの2次避難/安否確認訓練
第4回防災訓練	6年11月11日(月)	南海トラフ地震を想定した知覚訓練及び避難訓練 ・机下への1次避難/グラウンドへの2次避難/安否確認訓練
地域防災訓練	6年12月1日(日)	・全校生徒に参加を呼びかけ

7 学校開放について

(1) 体育施設開放

令和5年度

施設名	利用日数	利用者数	利用種目	利用者負担額 (電気料)
運動場	8日	69人	ソフトボール	9,321円
体育館	225日	1,962人	バレーボール、ハンドボール、新体操	36,747円
計	233日	2,031人		46,068円

令和6年度(令和7年2月28日現在)

施設名	利用日数	利用者数	利用種目	利用者負担額 (電気料)
運動場	9日	73人	ソフトボール	11,722円
体育館	196日	1,641人	バレーボール、ハンドボール、新体操	33,253円
計	205日	1,714人		44,975円

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	<p>教育基本法（第1条、第2条）            学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第56条、第57条、第60条）            学校教育法施行規則            学校保健安全法（第5条）            静岡県立学校設置条例            静岡県立高等学校学則            高等学校学習指導要領            理科教育振興法（第11条）            理科教育振興法施行令            産業教育振興法（第18条）            産業教育振興法施行令            高等学校修学旅行に関する基準            いじめ防止対策推進法（第15条第2項）</p>
2 学校の管理・運営に関すること	<p>学校教育法（第12条、第60条、第137条）            地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条、第47条の5）            静岡県立学校管理規則            教育公務員特例法（第21条から第24条まで）            学校保健安全法（第15条、第27条）            静岡県立学校職員安全衛生管理規程            静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱            学校図書館法（第3条、第4条、第5条）            いじめ防止対策推進法（第16条、第22条）            静岡県教育委員会処務規程            静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例            静岡県立学校授業料等徴収規則            高等学校等就学支援金の支給に関する法律            高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令            高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則            高等学校等就学支援金交付金交付要綱            高等学校等就学支援金事務費交付金交付要綱            公立高等学校授業料不徴収交付金交付要綱            静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則            静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱            静岡県手数料徴収条例            静岡県情報公開条例施行規則            独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）            社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条）            静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則            静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱</p>

# 学校施設の概要

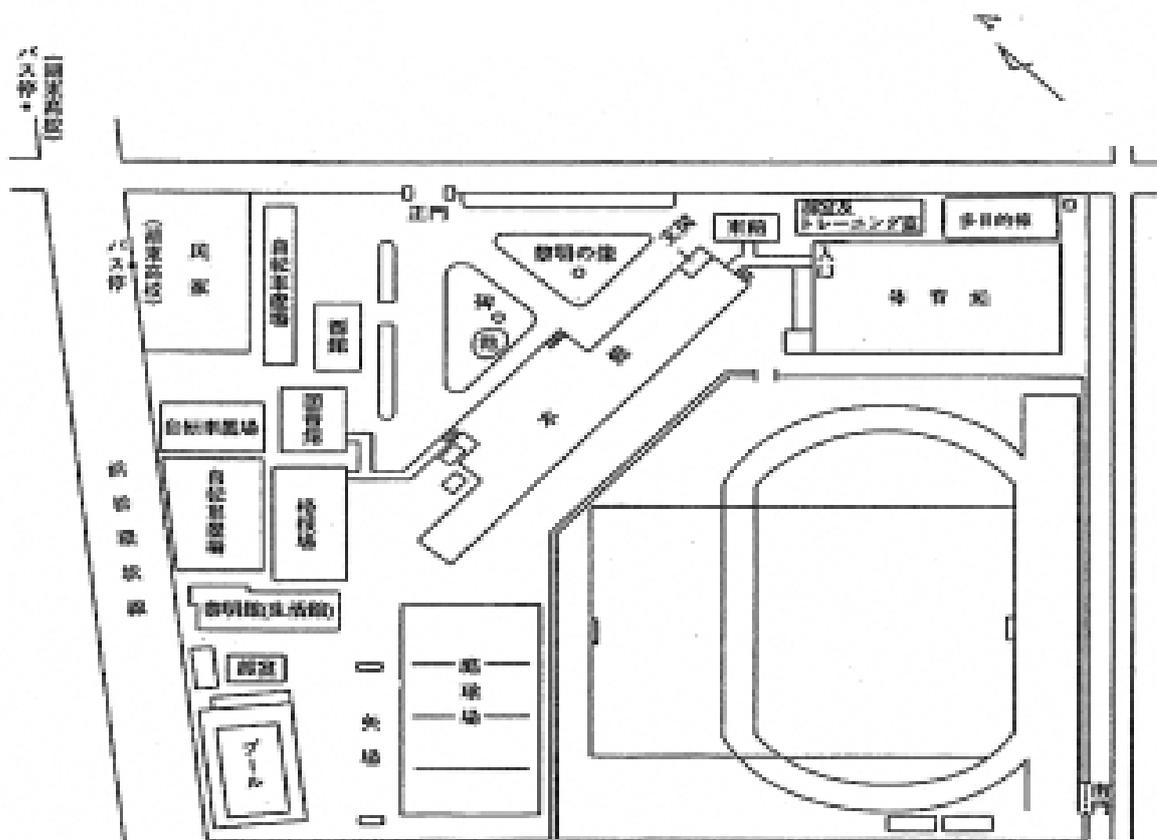
## 1 面積及び所有区分

(令和7年2月28日現在)

区分	面積 m <sup>2</sup>	所有内訳					摘要
		県有 m <sup>2</sup>	国有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民有 m <sup>2</sup>	
学校敷地	37,704.00	37,704.00					
内 訳	校舎敷地	19,300.00	19,300.00				
	運動場敷地	18,404.00	18,404.00				
	その他の敷地						
校舎	建 2,589.74	2,589.74					
	延 7,892.71	7,892.71					
体育館	建 1,922.07	1,922.07					
	延 2,059.87	2,059.87					
武道場	建 779.87	779.87					
	延 657.37	657.37					
その他の建物	建 2,448.02	2,040.54			407.48		
	延 2,643.81	2,014.54			629.27		
生活館	建 418.97	418.97					
	延 1,010.59	1,010.59					
プール	400.00	400.00					

## 2 配置・規模等

### ( 1 ) 校舎等の配置図



### ( 2 ) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	37,704.00㎡	7,892.71㎡	18,404.00㎡
県平均	45,574.48㎡	9,807.98㎡	22,506.84㎡

# 在 籍 生 徒 調

(令和7年2月28日現在)

学 年	学科別 区 分		普 通 科			
			定 員	男 子	女 子	計
1 年	入 学 者		280	138	134	272
	6	増 加				
		減 少		3	1	4
現 在		135		133	268	
2 年	入 学 者		280	144	137	281
	5	増 加				
		減 少		3	2	5
	2年時当初			141	135	276
	6	増 加				
減 少		3			3	
現 在		138	135	273		
3 年	入 学 者		280	137	123	260
	4	増 加				
		減 少		4	4	8
	2年時当初			133	119	252
	5	増 加				
		減 少		5		5
	3年時当初			128	119	247
6	増 加					
	減 少		1	1		
現 在		128	118	246		
合 計			840	401	386	787

## 入学志願者及び入学者数調

区	分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
学	科	全日制普通	全日制普通	全日制普通	全日制普通	全日制普通	
生	徒定員(A)	280	280	280	280	240	
募	集者数(B)	280	280	280	280	240	
志	願者数	男	129(1)	138	144	140	131
		女	129	123(1)	140	134	112
		計(C)	258(1)	261(1)	284	274	243
受	検者数	男	129(1)	137	144	140	130
		女	129	123(1)	139	134	112
		計(D)	258(1)	260(1)	283	274	242
合	格者数	男	129(1)	137	144	138	129
		女	129	122(1)	137	134	112
		計(E)	258(1)	259(1)	281	272	241
志	願倍率(C)/(B)	0.92	0.93	1.01	0.98	1.01	
受	検倍率(D)/(B)	0.92	0.93	1.01	0.98	1.01	
入	学者数	男	130	137	144	138	128
		女	129	123	137	134	112
		計(F)	259	260	281	272	240
充	足率(F)/(A)	0.93	0.93	1.00	0.97	1.00	

## 卒業生の動向調(高等学校用)

### 1 進路状況

学 科 別		全 日 制 普 通 科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒 業 生 徒 数		270	243	246	
内 訳	( 進 学 志 願 者 )	( 266 )	( 231 )	( 237 )	
	進 学 者	大 学 ・ 短 大	179	158	170
		専 修 ・ 各 種 学 校 等	76	64	66
		小 計	255	222	236
	就 職 者	4	10	9	
	自 営 者	0	0	0	
	進 学 準 備 者	11	9	1	
そ の 他	0	2	0		
合 計		270	243	246	

### 2 求人状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就 職 希 望 者 数	6	4	10	9
求 人 数	3	3	3	7
求 人 倍 率	0.5	0.8	0.3	0.8

### 3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別	全 日 制 普 通 科	
卒 業 生 徒 数	246	
資格の取得状況 ( 種 類 別 )	英語検定 2 級	1
	〃 準 2 級	1
合 計	2	

## 生 徒 の 状 況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年2月28日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	湖西市	磐田市	県外	その他	合 計
生徒数	777	7	1	0	2	787
構成比	98.7%	0.9%	0.1%	0.0%	0.3%	100.0%

(2) 通学方法 (令和7年2月28日現在) (単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	バ ス	その他	合 計
生徒数	8	709	60	10	787
構成比	1.0%	90.1%	7.6%	1.3%	100.0%

### 2 部の加入状況 (令和7年2月28日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部	数	14	10	/	24
男子	1年	90	45	0	135
	2年	87	29	22	138
	3年	82	29	17	128
	計(A)	259	103	39	401
	構成比	64.6%	21.8%	9.8%	96%
女子	1年	68	65	0	133
	2年	54	76	5	135
	3年	30	71	17	118
	計(B)	152	212	22	386
	構成比	35.2%	54.9%	5.7%	96%
合計	(A+B)	411	315	61	787
	構成比	52.2%	40.0%	7.8%	100%

# 授 業 料 収 納

(全日制)

期 別	調 定 の 状 況								
	1 年		2 年		3 年		計		
	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	
	人	円	人	円	人	円	人	円	
一 期	4								
	5								
	6								
	7	57	1,692,900	55	1,633,500	38	1,128,600	150	4,455,000
	8								
	計	57	1,692,900	55	1,633,500	38	1,128,600	150	4,455,000
二 期	7								
	8								
	9								
	10	64	3,168,000	45	2,227,500	43	2,128,500	152	7,524,000
	11	1	19,800	2	19,800			3	39,600
	12								
	計	63	3,148,200	43	2,207,700	43	2,128,500	149	7,484,400
三 期	12								
	1	63	2,494,800	43	1,702,800	43	1,702,800	149	5,900,400
	2								
	3								
	計	63	2,494,800	43	1,702,800	43	1,702,800	149	5,900,400
合 計	183	7,335,900	141	5,544,000	124	4,959,900	448	17,839,800	

# 状 況 調

(令和5年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額		
収 納 率	収 納 額	未 済 額	未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額 = 4,455,000円 (150人×9,900円×3月)
				B. 収納権利増減( )額 = 0円
4,425,300	99	0	29,700	
		29,700		
4,425,300	99.3	29,700	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 4,455,000円
				A. 期首収納権利発生額 = 7,524,000円 (152人×9,900円×5月)
				B. 収納権利増減( )額 = 39,600円 10月9日 : 2年生 (1人×9,900円×1月)(転学者) 10月31日 : 2年生 (1人×9,900円×1月)(転学者) 10月13日 : 1年生 (1人×9,900円×2月)(10月認定者)
7,227,000	96.1	0	297,000	
19,800		277,200		
7,207,200	96.3	277,200	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 7,484,400円
				A. 期首収納権利発生額 = 5,900,400円 (149人×9,900円×4月)
5,742,000	97		158,400	B. 収納権利増減( )額 = 0円
		158,400		
5,742,000	97	158,400	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 5,900,400円
17,374,500	97	465,300	0	D. 収納必要額 = 17,839,800円

# 授 業 料 収 納

(全日制)

期 別	調 定 の 状 況								
	1 年		2 年		3 年		計		
	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	
	人	円	人	円	人	円	人	円	
一 期	4								
	5								
	6								
	7	64	1,900,800	63	1,871,100	42	1,247,400	169	5,019,300
	8								
	計	64	1,900,800	63	1,871,100	42	1,247,400	169	5,019,300
二 期	7								
	8								
	9								
	10	66 1	3,267,000 9,900	56	2,772,000	48	2,376,000	171	8,424,900
	11								0
	計	67	3,276,900	56	2,772,000	48	2,376,000	171	8,424,900
三 期	12								
	1	66	2,613,600	55	2,178,000	48	1,900,800	169	6,692,400
	2								
	3								
	計	66	2,613,600	55	2,178,000	48	1,900,800	169	6,692,400
合 計	197	7,791,300	174	6,821,100	138	5,524,200	509	20,136,600	

# 状 況 調

(令和6年度) (令和7年2月28日現在)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	納 期 後	収 入		
収 納 率	収 納 額	未 済 額	未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額 = 5,019,300円 (169人 × 9,900円 × 3月)
				B. 収納権利増減( )額 = 0円
4,930,200	98.2		89,100	
		89,100	0	
4,930,200	98.2	89,100	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 5,019,300円
				A. 期首収納権利発生額 = 8,464,500円 (171人 × 9,900円 × 5月)
				B. 収納権利増減( )額 = 39,600円 7月31日 : 1年生 (1人 × 9,900円 × 4月) (転学者)
8,028,900	95.3		396,000	
		396,000	0	
8,028,900	95.3	396,000	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 8,424,900円
				A. 期首収納権利発生額 = 6,692,400円 (169人 × 9,900円 × 4月)
6,573,600	98.2		118,800	B. 収納権利増減( )額 = 0円
		118,800		
6,573,600	98.2	118,800	0	C. 収納必要額 A ( ± ) B = 6,692,400円
19,532,700	97.0	603,900	0	D. 収納必要額 = 20,136,600円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和5年度	令和6年度 (令和7年2月28日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	271件	242件
合 計	271件	242件

## 預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行 富塚支店	無利息型 普通預金	0093568	静岡県立浜松湖東高等学校 資金前渡者 校長 校長 渥美真人	0	給与、継続的資金前渡
静岡銀行 富塚支店	無利息型 普通預金	0258254	(白振口) 静岡県立浜松湖東高等学校 資金前渡者 校長 校長 渥美真人	0	光熱水費・電話料・後 納郵便料・社会保険料 引落とし用
残 高 合 計				0	

# 郵 券 等 受 払 調

(令和7年2月28日現在)

(単位:枚、円等)

区分	種類	令和 5 年 度						令和 6 年 度								摘要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	290円券	4	1,160	0	0	1	290	3	870	0	0	0	0	3	870	県教委、各学校、生徒保護者等への連絡用
	260円券	5	1,300	0	0	2	520	3	780	0	0	1	260	2	520	
	140円券	3	420	0	0	2	280	1	140	0	0	0	0	1	140	
	120円券	12	1,440	0	0	2	240	10	1,200	0	0	1	120	9	1,080	
	84円券	17	1,428	0	0	3	252	14	1,176	0	0	2	168	12	1,008	
	63円券	35	2,205	0	0	0	0	35	2,205	0	0	0	0	35	2,205	
	20円券	8	160	0	0	1	20	7	140	0	0	0	0	7	140	
	10円券	1	10	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2円券	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	
	1円券	3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	3	
計		/	8,128	/	0	/	1,612	/	6,516	/	0	/	548	/	5,968	
SIMカード	プリペイドSIMカード	0	0	2	10GB or 180日	0	10GB or 180日	2	10GB or 180日	0	0	2	10GB or 180日	0	10GB or 180日	グローバルハイスクール事業用遠隔授業通信用
計		/	0	/	10GB or 180日	/	10GB or 180日	/	10GB or 180日	/	0	/	10GB or 180日	/	10GB or 180日	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和4年度	令和5年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,296,360	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		578,160	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		0	
計					3,928,282	2,874,520	
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		10,123,300	
計					5,489,000	10,123,300	
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		0	
計					220,000	0	
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		74,224,300	
計					74,868,100	74,224,300	
(21) 補償、補填 及び賠償 金							
計					0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,527,785	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	297,000	
計					1,824,785	
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	4,290,000	
計					4,290,000	
(16) 公有財産 購入費						
計					0	
(17) 備品 購入費						
計					0	
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	73,891,700	
計					73,891,700	
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	

# 委 託 料 に 関 する 調

(令和5年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	（事務関係） 自家用電気 工作物保安 管理業務委託	遠鉄アシスト （株）	円 3,693,360	円 2,588,520	円 0	円 2,588,520	一般	R5.4.1 ～ R6.3.31	R5.10.25 R6.4.16 小計	円 1,294,260 1,294,260 2,588,520	自家用電気工作物保安管理業務	浜松湖東 浜松北 浜松西 浜松南 浜松湖南 浜松江之島 浜松商業 新居 湖西 浜松特別支援 浜名特別支援
2	普通教室ガス ヒートポンプ 保守点検業務委託	㈱ハマネン 設備センター	121,000	121,000	0	121,000	随契	R5.6.1 ～ R6.3.31	R6.4.16	121,000	GHPエアコン保守点検業務	随契1号 （少額）
3	産業廃棄物 収集運搬処分業務委託	㈱リサイクル ルグリーン	99,000	99,000	0	99,000	随契	R5.10.31 ～ R6.3.28	R6.2.1	99,000	産業廃棄物収集運搬処分業務	随契1号 （少額）
4	産業廃棄物 （廃HIDランプ類） 収集運搬処分業務委託	中遠環境 保全㈱	66,000	66,000	0	66,000	随契	R5.10.20 ～ R6.3.28	R6.2.2	66,000	産業廃棄物（廃HIDランプ類）収集運搬処分業務	随契1号 （少額）
	事務関係 計	4件	3,979,360	2,874,520	0	2,874,520				2,874,520		
	工事関係 計	0件	0	0	0	0				0		
	合計	4件	3,979,360	2,874,520	0	2,874,520				2,874,520		
参考 1	汚水処理施設・ 浄化槽保守点 検業務委託	管理事業 （有）	/	3,069,110	29,480	3,039,630	/	R5.4.1 ～ R6.3.31	/	/	汚水処理施設・ 浄化槽保守点 検業務	新居高等学校
参考 2	消防用設備 保守点検業務委託	静岡県消 防設備保守 点検業務 （同）	/	19,030,000		19,030,000	/	R5.4.1 ～ R6.3.31	/	/	消防設備 保守点検業務	浜松湖北高等学校
参考 3	可燃物収集 運搬処分業務委託	環境保全 ㈱	/	運搬料1回 660円・処分料 1kg13.2円	0	運搬料1回 660円・処分料 1kg13.2円	/	R5.4.10 ～ R6.3.29	/	/	ごみ収集 排出業務 基本収集日 1日1回収	浜松大平台高等学校
参考 4	プール浄化装 置保守点検業務委託	清化工業 ㈱	/	998,800	0	998,800	/	R5.4.10 ～ R5.11.30	/	/	プール浄化装置 保守点検業務	浜松東高等学校
参考 5	警備業務委託	総合警備 保障㈱ 静岡支社	/	6,705,600	0	6,705,600	/	R1.10.1 ～ R6.9.30	/	/	侵入等監視 警備業務	浜松北高等学校
参考 6	浜松南・湖 西地区立 学校建築 基準に 基づく定期 点検業務委託	㈱いま総合 設計	/	4,290,000	0	4,290,000	/	R5.9.12 ～ R6.1.31	/	/	浜松南・湖西 地区立学校定期 点検業務委託	湖西高等学校
	計	6件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

# 委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	（事務関係） 自家用電気 工作物保安 管理業務 委託	遠鉄アシスト ㈱	3,894,660	2,786,520	693,220	3,479,740	一般	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.10.28  小計	1,670,548  1,670,548	自家用電気工 作物保安管理 業務	浜松湖東 浜松北 浜松西 浜松南 浜松湖南 浜松江之島 浜松商業 新居 湖西 浜松特別支援 浜名特別支援
2	産業廃棄物 収集運搬 処分業務 委託	㈱リサイクル ルクリーン	99,000	99,000	0	99,000	随契	R6.9.4 ～ R7.3.28	R6.11.8	99,000	産業廃棄物収 集運搬処分業 務	随契1号 (少額)
3	産業廃棄物 (廃蛍光灯 類)収集運 搬処分業 務委託	中遠環境保 全㈱	55,237	55,237	0	55,237	随契	R6.9.2 ～ R7.3.28	R6.11.8	55,237	産業廃棄物(廃 蛍光灯類)収集 運搬処分業務	随契1号 (少額)
4	体育館建築 基準法第12 条に基づく 外壁全面打 診調査業務 委託	㈱公共設計	1,080,200	1,078,000	0	1,078,000	指名	R6.10.2 ～ R7.1.31			外壁全面打診 調査業務	
	事務関係 計	4件	5,129,097	4,018,757	693,220	4,711,977				1,824,785		
	工事関係 計	0件	0	0	0	0				0		
	合計	4件	5,129,097	4,018,757	693,220	4,711,977				1,824,785		
参考 1	汚水処理施 設・浄化槽 保守点検業 務委託	施設管理事業 ㈱	/	3,524,400		3,524,400	/	R6.4.1 ～ R7.3.31	/	/	汚水処理施設・ 浄化槽保守点 検業務	新居高等学校
参考 2	消防用設備 保守点検業 務委託	静岡県消防 設備保守点 検業務(同)	/	18,810,000	16,500	18,793,500	/	R6.4.1 ～ R7.3.31	/	/	消防設備等 保守点検業務	浜松湖北高等学 校
参考 3	可燃物収集 運搬処分業 務委託	環境保全 ㈱	/	運搬料1回 715円・処分料 1kg13.2円	0	運搬料1回 715円・処分料 1kg13.2円	/	R6.4.8 ～ R7.3.31	/	/	ごみ収集 排出業務 基本収集日 1日1回収	浜松大平台高等 学校
参考 4	プール浄化 装置保守点 検業務委託	清化工業 ㈱	/	998,800	17,050	981,750	/	R6.4.8 ～ R6.12.27	/	/	プール浄化装置 保守点検業務	浜松東高等学校
参考 5	警備業務 委託	総合警備保 障㈱ 静岡支社	/	6,705,600	0	6,705,600	/	R1.10.1 ～ R6.9.30	/	/	侵入等監視 警備業務	浜松北高等学校
参考 6	警備業務 委託	総合警備保 障㈱ 静岡支社	/	8,448,000	0	8,448,000	/	R6.10.1 ～ R11.9.30	/	/	侵入等監視 警備業務	浜松北高等学校
参考 7	浜松南・湖 西地区立 学校建築 基準法第 12条基 づく定期 点検業務 委託	㈱いま総合 設計	/	3,784,000	0	3,784,000	/	R6.8.2 ～ R7.2.28	/	/	浜松南・湖西 地区立学校 定期点検業務 委託	浜松南高等学 校
	計	7件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

## 負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長会 第75回総会・研究 協議会参加費	全国高等学校長 会	全国高等学校長会第 75回総会・研究協議会 開催通知による	都道府県別各ブロック による研究協議	円 2,000	R5.5.28
2	東海四県高等学校 長生徒指導連絡協 議会参加費	東海四県高等学 校長生徒指導連 絡協議会	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会 開催通知による	各県による研究協議	2,000	R5.7.26
3	高等学校等就学支 援金	高等学校授業料 (第1期分 629名 分)	高等学校等就学支 援金の支給に関する法 律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	18,681,300	R5.7.31
4	高等学校等就学支 援金	高等学校授業料 (第2期分 626名 分)	高等学校等就学支 援金の支給に関する法 律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	30,907,800	R5.10.31
5	高等学校等就学支 援金	生徒保護者 (第2期分 1名 分)	高等学校等就学支 援金の支給に関する法 律	高等学校等就学支 援金の認定にかかる支 給	19,800	R5.11.24
6	高等学校等就学支 援金	高等学校授業料 (第3期分 623名 分)	高等学校等就学支 援金の支給に関する法 律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	24,631,200	R6.1.31
7	高等学校等就学支 援金	高等学校授業料 (第3期分 退学 者1名分)	高等学校等就学支 援金の支給に関する法 律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	19,800	R6.2.15
計		7 件	/	/	74,224,300	/

## 負担金支出調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	全国高等学校長会第76回総会・研究協議会開催通知による	都道府県別各ブロックによる研究協議	円 4,000	R6.5.1
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会開催通知による	各県による研究協議	2,000	R6.7.4
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会開催通知による	各県による研究協議	2,000	R6.7.5
4	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第1期分 626名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	18,592,200	R6.7.31
5	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第2期分 622名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	30,759,300	R6.10.31
6	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第3期分 620名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,532,200	R7.1.31
計		6 件	/	/	73,891,700	/

# 建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額	
					当初額	変更増減額
				円	円	円
1	教 育 管理費	令和5年度 静岡県立浜松湖東高等学校 本館電話設備更新工事	浜松市中央 区大人見町 地内	3,179,000	2,992,000	0
2	教 育 管理費	令和5年度 静岡県立浜松湖東高等学校 プールろ過装置改修工事	浜松市中央 区大人見町 地内	1,177,000	1,133,000	0
3	教 育 管理費	令和5年度 静岡県立浜松湖東高等学校 黎明館屋上防水層修繕工事	浜松市中央 区大人見町 地内	4,378,000	4,128,300	0
4	教 育 管理費	令和5年度 静岡県立浜松湖東高等学校 本館東玄関改修工事	浜松市中央 区大人見町 地内	1,980,000	1,870,000	0
		計	4件	10,714,000	10,123,300	0

(参考)

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額	
					当初額	変更増減額
				円	円	円
1	教 育 管理費	令和5年度 [ 第35-Z0833-01号 ] 浜松湖東高等学校 黎明館ほか給排水衛生設備改修工 事	浜松市中央 区大人見町 地内	41,811,000	39,600,000	4,301,000
		計	1件	41,811,000	39,600,000	4,301,000

# 事 調

(令和5年度)

計	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 2,992,000	指名	(株)エンツー	R5.7.12 R5.9.12	円 2,992,000	電話交換機、電話機の更新	済	令達経理 令達年月日 R5.6.15 支払年月日 R5.11.2 指名
1,133,000	随契	清化工業(株)	R5.12.13 R6.3.15	1,133,000	プールろ過装置の四方弁から五方弁への取替		令達年月日 R5.11.24 支払年月日 R6.3.29 随契1号(少額)
4,128,300	指名	(有)浜成工業	R5.12.25 R6.3.26	4,128,300	黎明館屋上防水層の修繕		令達年月日 R5.12.1 支払年月日 R6.4.17 指名
1,870,000	随契	エスケード(株)	R6.1.16 R6.3.21	1,870,000	玄関扉の更新		令達年月日 R5.12.26 支払年月日 R6.4.12 随契1号(少額)
10,123,300				10,123,300			

計	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 43,901,000	指名	スヤマビルドサービス(株)	R5.6.13 R6.2.29	円 43,901,000	黎明館系統污水管、給水管の更新 井水ポンプの更新 等		本庁経理 浜松土木事務所
43,901,000				43,901,000			

# 建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額	
					当初額	変更増減額
1	教 育 管理費	令和6年度 静岡県立浜松湖東高等学校 本館西調理室及び調理準備室床改 修工事	浜松市中央 区 大人見町 地内	円 4,290,000	円 4,290,000	円 0
		計	1 件	4,290,000	4,290,000	0

# 事 調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

計	契約締結方法	受注者	着手完成 (予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 4,290,000	指名	エスケード (株)	R6.8.8 R6.10.29	円 4,290,000	調理室、調理準備室の床改修工事		令達経理 令達年月日 R6.7.24 支払年月日 R6.11.15
4,290,000				4,290,000			

# 公 有 財 産 調

(令和5年度)

区分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,643,592		千円 2,929		千円 14,021		千円 1,632,500	
土地	㎡ 37,704.00	1,510,207					㎡ 37,704.00	1,510,207	
立木竹	本 255	5,986					本 255	5,986	
建物	㎡ 7,751.19 13,635.08	60,076				8,297	㎡ 7,751.19 13,635.08	51,779	
工作物	個 96	67,323	1	2,929	1	5,724	個 96	64,528	
普通財産		0		0		0		0	
土地	㎡ 0	0					㎡ 0	0	
建物	㎡ 0 0	0				0	㎡ 0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの		242		0		0		242	
電話加入権	件 6	242					件 6	242	

様式第22号

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年2月28日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,632,500		千円 138		千円 153		千円 1,632,485	
土地	㎡ 37,704.00	1,510,207					㎡ 37,704.00	1,510,207	
立木竹	本 255	5,986			4	153	本 251	5,833	
建物	㎡ 7,751.19 13,635.08	51,779					㎡ 7,751.19 13,635.08	51,779	
工作物	個 96	64,528	1	138			個 97	64,666	
普通財産		0		153		153		0	
土地	㎡ 0	0					㎡ 0	0	
立木竹	本 0	0	4	153	4	153	本 0	0	
建物	㎡ 0 0	0				0	㎡ 0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの		242		0		0		242	
電話加入権	件 6	242					件 6	242	

# 借 地 借 家 等 調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	工作物		浜松市中央 区大人見町 3600			基 1.00	円	無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	外灯
2	工作物		浜松市中央 区大人見町 3600			基 2.00	円	無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	夜間照明
3	工作物		浜松市中央 区大人見町 3600			式 1.00	円	2,769,703	円 自 6.7.1 至 19.6.30	NTT・TCリース株 式会社 静岡支店	特別教室 空調設備
4	建物	事務所建	浜松市中央 区大人見町 3600	重量鉄骨造 2階建 折板葺		m <sup>2</sup> <u>322.86</u> 544.65		無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	部室及びト レーニング室
5	建物	事務所建	浜松市中央 区大人見町 3600	補強コンクリ ット ブロック造 平屋建		m <sup>2</sup> <u>27.00</u> 27.00		無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	水泳部室
6	建物	雑屋建	浜松市中央 区大人見町 3600	軽量鉄骨造 平屋建 折板葺		m <sup>2</sup> <u>27.27</u> 27.27		無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	渡り廊下
7	建物	雑屋建	浜松市中央 区大人見町 3600	軽量鉄骨造 平屋建 小波トタン葺		m <sup>2</sup> <u>10.00</u> 10.00		無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	洋弓の場
8	建物	雑屋建	浜松市中央 区大人見町 3600	軽量鉄骨造 平屋建 小波トタン葺		m <sup>2</sup> <u>20.35</u> 20.35		無償	円 自 6.4.1 至 7.3.31	静岡県立浜松湖東 高等学校後援会長	洋弓射場
9	土地		浜松市中央 区大人見町 3600	普通河川		m <sup>2</sup> 34.75		無償	円 自 5.4.1 至 10.3.31	浜松市長	校舎への 通路
	計					基 3.00 式 1.00 m <sup>2</sup> <u>407.48</u> 629.27 m <sup>2</sup> 34.75		2,769,703	円		

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区 大人見町3600	学校敷地	学校敷地	電柱1本 支線柱1本	円 1,500	円 3,000	自 5.4.1 至 10.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電柱敷地
2	"	"	"	"	"	電柱2本 支線1条	1,500	4,500	自 5.4.1 至 10.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所長	"
3	"	"	"	"	"	37.40㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	県立浜松湖東高等学校後援会長	洋弓場敷地
4	"	"	"	"	"	397.97㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	"	部室及びトイレ・ レニング室敷地(渡り廊下・水泳部室を含む)
5	"	"	"	"	"	地下埋設物 15.60m		免除	自 3.4.1 至 8.3.31	浜松市長	三方原用水路敷地
6	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	20.40㎡		免除	自 6.4.1 至 7.3.31	県立浜松湖東高等学校後援会長	購買室設置
7	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	2.00㎡		3,440	自 4.4.1 至 7.3.31	"	自動販売機設置
	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	1.00㎡					
8	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	2.91㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	"	進路資料室・進路室 空調設備設置
9	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	0.16㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	"	外灯設置
10	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	1.38㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	"	夜間照明設置
	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	8.40㎡					
	"	"	"	"	"	地下埋設物 293.00m					
11	"	"	"	"	"	270.00㎡		免除	自 2.4.1 至 7.3.31	"	植栽用地
12	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	6.6㎡		免除	自 6.4.1 至 7.3.31	県立浜松湖東高等学校PTA会長	団体職員執務場所及び 駐車場所
	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	14.00㎡					
13	建物	事務所建	"	鉄筋5階建	鉄筋5階建	2.00㎡		1,451,100	自 4.4.1 至 7.3.31	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)ペンディング中部日本地区統括部ペンディング浜松支店	自動販売機設置
	土地	学校敷地	"	学校敷地	学校敷地	2.00㎡					
合計								1,462,040			

# 主 要 備 品 調

( 令和7年2月28日現在 )

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	10-02	その他の語学用器具	その他の語学用器具 L.L.装置	英語授業用 毎日(年間195日)	H10. 3	7,384,902
2	03-03	プロジェクター	プロジェクター プロジェクター	普通教室授業用 毎日(年間195日)	R3.3	5,142,500
3	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) タブレット端末等	授業(全般)用 2週に1日(年間12~13日)	R3.3	1,904,109
4	10-12	トレーニング用器具	トレーニング用具 バタフライ、ローイングマシン	基礎体力強化用 毎日(年間250日)	H元.12	942,450
5	02-02	放送装置(一式)	放送設備(一式) 3元デスク型放送設備 音声調整卓(3元30局) 袖卓 ラックマウント金具 電力増幅装置 防災リモット 年間プログラムタイマー	校内連絡用  毎日(年間195日)	H23. 3	892,500
6	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) サーバー、ディスプレイ、プリンター等	情報授業用 毎日(年間195日)	H27. 3	796,716
7	10-07	鍵盤楽器	鍵盤楽器 アップライト	音楽の授業用 週 4日(年間100日)	H23. 2	663,600
8	02-02	放送装置	放送設備 パナソニック、体育館用	学校行事用 週 2日(年間50日)	H18. 1	640,500
9	06-04	変圧器整流器	電源装置 出力容量40A	理科実験用 年間39時間	S63. 9	630,000
10	01-04	金庫	耐火金庫 FXJ-620WTR	文書保管金庫 毎日(年間365日)	H28. 2	582,120
11	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等一式 校内LANサーバー等一式	情報管理用 毎日(年間365日)	H29. 3	529,308
12	01-04	た な	移動式軽量棚 たな 7連	文書整理棚 毎日(年間365日)	H13. 3	513,000
13	10-07	管 楽 器	バスクラリネット ケース付	部活動(吹奏楽)用 毎日(年間250日)	H16. 3	474,947
14	03-02	顕 微 鏡	教師用顕微鏡 オリンパスBHT321	生物授業・教材作成用 週3~12時間(年間50日)	H7. 2	470,000
15	01-04	移 動 書 庫	2連横型前3列後4列 前列可動式・後列固定式	文書整理棚 毎日(年間365日)	H2. 3	468,567
16	06-04	空 調 冷 凍 機 器	空調冷凍機器 製氷機	体育、保健用 毎日(年間365日)	H14. 1	459,900
17	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等 ネットワークサーバー等	情報管理用 毎日(年間365日)	H13. 3	456,120
18	02-02	放 送 装 置	放送装置 屋外放送設備一式	学校行事用 年間3日	H18. 8	453,600
19	05-04	培 養 機 器	培養機器 照明付低温インキュベーター	理科実験用 毎日(年間365日)	H7. 2	451,000
20	05-03	電 波 実 験 器	電波実験器 電波実験器	理科実験用 年間39時間	H12. 2	437,430

# 職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
					年 月	
1	校 長	渥美 真人			.	
2	副校長	猿田 かおる	総 括		.	
3	教 頭	萩原 英城	総 括		.	
4	事務長	藤田 優子	事務総括		.	
5	教 諭	小粥 敏弘	数 学		.	
6	教 諭	河合 良訓	数 学		.	
7	教 諭	中村 真弓	理 科		.	
8	教 諭	金子 次好	英 語		.	
9	教 諭	宇野 康晴	数 学		.	
10	教 諭	内野 晴夫	国 語		.	
11	教 諭	山本 恵一	美 術		.	
12	教 諭	山本 悦子	家 庭		.	
13	教 諭	田中 久裕	英 語		.	
14	教 諭	竹田 尚央	保健体育		.	
15	教 諭	石 川 智	数 学		.	
16	教 諭	安井 正幸	地歴・公民		.	
17	教 諭	中島 晴彦	保健体育		.	
18	教 諭	鈴木 さおり	国 語		.	
19	教 諭	源 馬 愛	家 庭		.	
20	教 諭	平野 静香	地歴・公民		.	
21	教 諭	松山 真由美	英 語		.	
22	教 諭	関根 健太	理 科		.	
23	教 諭	小原 百合子	英 語		.	
24	教 諭	内田 達彦	保健体育		.	
25	教 諭	片桐 啓晴	地歴・公民		.	
26	教 諭	星宮 朋光	英 語		.	
27	教 諭	老川 元久	数 学		.	
28	教 諭	高橋 和裕	保健体育		.	
29	教 諭	森 仁 志	国 語		.	
30	教 諭	須山 尚子	英 語		.	

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘要
31	教諭	江間 節子	数 学		.	
32	教諭	伊藤 孔美	情 報		.	
33	教諭	新村 誠章	理 科		.	
34	教諭	鈴木 裕太郎	保健体育		.	
35	教諭	三倉 七絵	数 学		.	
36	教諭	井ノ上 淳子	英 語		.	
37	教諭	石坂 奈緒美	地歴・公民		.	
38	教諭	岡 田 弘	数 学		.	
39	教諭	鈴 木 直	理 科		.	
40	教諭	一木 翔太	国 語		.	
41	教諭	杉本 眞洋	保健体育		.	
42	教諭	出口 愛由美	英 語		.	
43	教諭	増田 千晶	英 語		.	
44	教諭	菊 澤 裕	地歴・公民		.	
45	教諭	川村 詩織	地歴・公民		.	
46	教諭	栗沢 萌加	国 語		.	
47	教諭	伊藤 彩花	国 語		.	
48	教諭	久保田 朝日	国 語		.	
49	養護教諭	名倉 沙奈	養 護		.	
50	主任実習助手	鈴木 勇人	理 科		.	
51	主査	尾田 雅宏	会 計		.	
52	主査	稲垣 早耶香	庶 務		.	
53	主事	米津 昌哉	管 財		.	
平均年数					3 . 2	

## 臨時的任用職員・会計年度任用職員・非常勤職員

(令和7年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘要
1	教諭(任)	伊藤 誠二	理科		.	
2	外国語指導講師	ミクタルト ミア			.	
3	非常勤労務職員	大野 潤一	用務		.	
4	非常勤労務職員	袴田 清子	用務		.	
5	非常勤講師	藤田 喜久次	地歴・公民		.	
6	非常勤講師	村松 誠	英語		.	
7	非常勤講師	小杉 英仁	書道		.	
8	非常勤講師	横山 郁乃	音楽		.	
9	校医	小野 宏志	内科		.	
10	校医	向高 洋幸	耳鼻科		.	
11	校医	野寄 清美	眼科		.	
12	校医	才川 隆弘	歯科		.	
13	薬剤師	牧田 道明			.	
14	健康管理医	小野 宏志			.	

## 職員の年齢調

(令和7年4月1日現在)

年齢	人員	摘要
20歳未満	0人	
20歳以上 30歳未満	9	
30歳以上 40歳未満	4	
40歳以上 50歳未満	16	
50歳以上 56歳未満	10	
56歳以上 61歳未満	7	再任用1人
61歳以上	7	再任用7人
計	53	平均年齢 46.8歳

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 52人 職員数 52人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1)未受診の理由

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0(0)人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0(0)人
B 2		要経過観察	0(0)人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0(0)人
C 2		要経過観察	0(0)人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	13(13)人
D 2		要経過観察	16(16)人
D 3		医 療 不 要	23(23)人
区 分 者 計			52(52)人
未区分者数			1(1)人
合 計			53(53)人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者  
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア	産休・育休	人
イ	新規採用	人
ウ	自己都合による未受診	人
エ	その他	人